

## 広島

## 山口・上関原発建設計画：予定地生態学会シンポ、中電社長が批判 / 広島

## ◇ 「客観性欠く議論」

中国電力の山下隆社長は14日、中区の本社で会見し、上関原発建設予定地（山口県上関町）周辺の生物多様性保全の重要性が指摘された今年10日のシンポジウムについて、「客観性に欠けた議論だ」と批判した。

シンポは日本生態学会、日本鳥学会、日本ベントス学会の各環境保全部門が中区で開催。国の天然記念物の鳥「カンムリウミスズメ」などが生息する予定地周辺を「ホットスポット」（生物多様性の保全上、特に重要な地域）と位置づけ、新たな環境影響調査や建設計画の見直しを求める声が相次いだ。

山下社長はカンムリウミスズメなどについて「（瀬戸内海の）他の場所でも見つかる可能性は十分ある。そこだけがホットスポットという言い方はあまりにも極端ではないか」と述べた。【樋口岳大】

毎日新聞 2010年1月15日 地方版